2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月5日

上場会社名　株式会社大水　　上場取引所　東
コード番号　7538　URL https://www.daisui.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長執行役員　(氏名) 山橋　英一郎
問合せ先責任者　(役職名) 管理部門経営管理部長　(氏名) 高木　宣宏　TEL 06-6131-5190

半期報告書提出予定日　2026年11月10日
配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	52,048	5.0	496	89.6	595	65.1	424	79.4
2026年3月期中間期	49,549	6.1	262	15.4	360	16.6	236	△3.1

(注) 包括利益　2027年3月期中間期　941百万円　(41.7%)　2026年3月期中間期　664百万円　(247.3%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	33.63	―
2026年3月期中間期	17.42	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	31,539	13,168	41.8
2026年3月期	28,371	12,842	45.3

(参考) 自己資本　2027年3月期中間期　13,168百万円　2026年3月期　12,842百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	0.00	―	7.00	7.00
2027年3月期	―	0.00			
2027年3月期(予想)			―	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2027年 3月期の連結業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,000	0.2	800	△11.0	950	△9.9	650	△11.0	53.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期中間期	13,774,819 株	2026年3月期	13,774,819 株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	1,524,365 株	2026年3月期	152,572 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年3月期中間期	12,611,942 株	2026年3月期中間期	13,571,153 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P．3「1．経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（会計方針の変更に関する注記） …… 9
（表示方法の変更に関する注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（収益認識関係） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における水産流通業界は、国内の水揚げ量についてはカツオなど一部魚種で増加しましたが、サンマは前年を大きく下回るなど、全体としては低調な状況となりました。また、輸入水産物については、円安傾向に加え、中東情勢の影響による輸送費の上昇が、仕入コストの増加要因となっております。

需要面においては、訪日客数に伸び悩みが見られたものの、外食需要は堅調に推移しております。一方、生活コストの上昇などもあり消費者の節約志向は根強く、内食需要は引き続き伸び悩んでおります。

当中間連結会計期間の経営成績は、売上高は520億48百万円（前年同期比5.0%増）となりました。損益面では、営業利益は４億96百万円（前年同期比89.6%増）、経常利益は５億95百万円（前年同期比65.1%増）、また親会社株主に帰属する中間純利益は４億24百万円（前年同期比79.4%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

（水産物販売事業）

市場営業部門における取扱数量及び金額については、鮮魚関係ではマグロ、サーモン、養殖ブリが増加した一方、サンマ、ウニは減少しました。塩冷関係では、鮭鱒、チリメン・シラス、塩サバが増加したものの、エビ、ホタテは減少しました。

市場外営業部門では、サバ、イワシなどの国内外向け凍魚のほか、海外向けスリミの販売が好調に推移しました。

これらの結果、売上高は519億40百万円（前年同期比5.1%増）となり、セグメント利益は５億77百万円（前年同期比68.6%増）となりました。

（冷蔵倉庫等事業）

冷蔵倉庫等事業は、売上高は１億39百万円（前年同期比0.2%増）となりました。損益面では売上原価が減少したことにより、セグメント利益は12百万円（前年同期比23.8%増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて31億68百万円増加し、315億39百万円となりました。これは商品及び製品が19億円、前渡金が５億18百万円、投資有価証券が７億73百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて28億42百万円増加し、183億70百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が７億40百万円、短期借入金が19億50百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて３億26百万円増加し、131億68百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が５億２百万円、利益剰余金が３億28百万円それぞれ増加した一方で、自己株式が５億20百万円増加（純資産は減少）したこと等によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の中間期末残高は、26億30百万円（前年同期比８億35百万円増）となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の増加による収入（７億40百万円）、棚卸資産の増加による支出（19億円）等により11億94百万円の支出（前年同期は21億32百万円の支出）となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出（20百万円）等により42百万円の支出（前年同期は２億39百万円の支出）となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加による収入（19億50百万円）、自己株式の取得による支出（５億43百万円）等により13億７百万円の収入（前年同期は11億65百万円の収入）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期通期の連結業績予想につきましては、2026年５月12日付の「2026年３月期　決算短信」にて公表いたしました予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,558	2,630
受取手形及び売掛金	9,676	9,503
商品及び製品	6,365	8,265
前渡金	1,398	1,917
未収消費税等	－	92
その他	199	253
貸倒引当金	△16	△33
流動資産合計	20,181	22,628
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	835	817
土地	1,723	1,723
その他（純額）	381	360
有形固定資産合計	2,939	2,901
無形固定資産	61	59
投資その他の資産		
投資有価証券	4,875	5,648
長期貸付金	80	89
繰延税金資産	13	13
破産更生債権等	75	75
固定化営業債権	750	748
その他	152	148
貸倒引当金	△758	△773
投資その他の資産合計	5,188	5,950
固定資産合計	8,190	8,911
資産合計	28,371	31,539

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,480	8,220
短期借入金	2,400	4,350
１年内返済予定の長期借入金	250	250
未払金	434	465
未払法人税等	208	169
賞与引当金	212	232
その他	448	338
流動負債合計	11,434	14,027
固定負債		
社債	800	800
長期借入金	600	600
繰延税金負債	834	1,121
再評価に係る繰延税金負債	283	283
役員退職慰労引当金	97	102
退職給付に係る負債	1,009	968
その他	468	466
固定負債合計	4,093	4,343
負債合計	15,528	18,370
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	2,763	2,764
利益剰余金	6,992	7,321
自己株式	△38	△559
株主資本合計	9,817	9,626
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,582	3,085
繰延ヘッジ損益	△33	10
土地再評価差額金	185	185
退職給付に係る調整累計額	289	260
その他の包括利益累計額合計	3,025	3,542
純資産合計	12,842	13,168
負債純資産合計	28,371	31,539

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	49,549	52,048
売上原価	46,262	48,252
売上総利益	3,287	3,795
販売費及び一般管理費	3,025	3,298
営業利益	262	496
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	74	84
受取賃貸料	90	90
その他	13	9
営業外収益合計	183	190
営業外費用		
支払利息	21	25
賃貸費用	55	53
その他	7	13
営業外費用合計	84	92
経常利益	360	595
税金等調整前中間純利益	360	595
法人税、住民税及び事業税	112	154
法人税等調整額	11	16
法人税等合計	124	171
中間純利益	236	424
非支配株主に帰属する中間純利益	―	―
親会社株主に帰属する中間純利益	236	424

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	236	424
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	459	502
繰延ヘッジ損益	△2	43
退職給付に係る調整額	△28	△29
その他の包括利益合計	427	517
中間包括利益	664	941
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	664	941
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	360	595
減価償却費	91	95
株式報酬費用	11	11
賞与引当金の増減額（△は減少）	△13	19
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	5	5
貸倒引当金の増減額（△は減少）	7	31
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△5	△41
受取利息及び受取配当金	△78	△90
支払利息	21	25
為替差損益（△は益）	0	△1
売上債権の増減額（△は増加）	△449	162
棚卸資産の増減額（△は増加）	△2,138	△1,900
前渡金の増減額（△は増加）	△698	△518
その他営業債権の増減額（△は増加）	△35	△15
仕入債務の増減額（△は減少）	904	740
その他営業債務の増減額（△は減少）	△127	△5
未収消費税等の増減額（△は増加）	41	△92
未払消費税等の増減額（△は減少）	△0	△40
その他	△27	△44
小計	△2,132	△1,064
利息及び配当金の受取額	78	90
利息の支払額	△8	△22
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△70	△197
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,132	△1,194
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
有形固定資産の取得による支出	△215	△20
無形固定資産の取得による支出	△4	△5
貸付けによる支出	△60	△92
貸付金の回収による収入	47	83
その他投資の取得による支出	△0	△0
その他投資の回収による収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△239	△42
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,250	1,950
自己株式の取得による支出	－	△543
配当金の支払額	△81	△94
リース債務の返済による支出	△3	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,165	1,307
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,206	71
現金及び現金同等物の期首残高	3,001	2,558
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,794	2,630

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

該当事項はありません。

（表示方法の変更に関する注記）

（中間連結キャッシュ・フロー計算書関係）

当中間連結会計期間より、金額的重要性が増したため、従来「その他営業債権」に含めて表示していた前渡金を独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の中間連結財務諸表の組替えを行っております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	水産物販売事業	冷蔵倉庫等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	49,436	113	49,549	－	49,549
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	25	25	△25	－
計	49,436	139	49,575	△25	49,549
セグメント利益	342	10	352	△90	262

（注）１．セグメント利益の調整額△90百万円のうち、△80百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、△９百万円はセグメント間取引消去であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	水産物販売事業	冷蔵倉庫等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	51,940	107	52,048	－	52,048
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	32	32	△32	－
計	51,940	139	52,080	△32	52,048
セグメント利益	577	12	589	△92	496

（注）１．セグメント利益の調整額△92百万円のうち、△82百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、△10百万円はセグメント間取引消去であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

	前中間連結会計期間 (自　2025年４月１日 至　2025年９月30日)	当中間連結会計期間 (自　2026年４月１日 至　2026年９月30日)
水産物販売事業		
鮮魚	20,474百万円	21,683百万円
塩冷その他	28,961	30,257
冷蔵倉庫等事業	113	107
顧客との契約から生じる収益	49,549百万円	52,048百万円
その他の収益	－百万円	－百万円
外部顧客への売上高	49,549百万円	52,048百万円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年５月21日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,435,000株の取得を行いました。この結果、当中間連結会計期間において自己株式が５億43百万円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が５億59百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。